

第 40 回
日本生殖免疫学会総会・学術集会

会長：伊川正人

大阪大学 微生物病研究所 教授

会期：2025 年 12 月 6 日（土）～12 月 7 日（日）

会場：大阪大学中之島センター

ご 挨 拶

日本生殖免疫学会の会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、第40回日本生殖免疫学会総会・学術集会を大阪大学・中之島センターで開催させて頂くことになりました。

折しも、大阪は2025年の大阪・関西万博は「いのち」に焦点を合わせ、知る・育む・守る・つむぐ・拡げる・高める・磨く・響き合わせる、という8つのテーマを掲げ、「いのち輝く未来をデザインする」場となります。万博終了後の開催とはなりますが、本大会は、生殖免疫学そのものである「いのちを知る・育む」をテーマに掲げ、基礎・臨床の両観点から最新の知見を発表・議論いただく場としたいと考えております。なお生殖免疫学の未来を担う若手の育成を目指し、学生/初期研修医の事前登録は無料とさせていただきます。

農学・理学・薬学・基礎医学・臨床医学を問わず、生殖に関する幅広い分野から奮ってご参加いただき、皆様方のご協力で実りある学術集会にして頂ければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第40回日本生殖免疫学会総会・学術集会

会長 伊川 正人

(大阪大学 微生物病研究所 教授)

【関連会議、行事日程】

2024 年 12 月 5 日（金）

■常任理事会

15：00～15：30 大阪大学中之島センター

■理事会

16：00～17：30 大阪大学中之島センター

2024 年 12 月 6 日（土）

■開会式

9：10～9：20 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

■総会・評議員会

17：25～17：55 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

■情報交換会

18：00～20：00 大阪大学中之島センター 岸本忠三交流サロン

2024 年 12 月 7 日（日）

■閉会式

15：20～15：30 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

【参加者へのご案内】

1. 参加登録

参加登録はオンラインまたは現地にて受付けいたします。

※原則オンライン登録をお願いいたします。

※一般演題を発表される方も参加登録が必要となります。

オンライン参加事前登録期間：2025 年 7 月 20 日(日) ～ 11 月 30 日(日)

詳細は下記ページをご確認ください。

<https://egr.biken.osaka-u.ac.jp/jsir40/registration>

2. 参加費

●会員／非会員（オンライン登録）：17,000 円

●会員／非会員（現地受付）：20,000 円

●学生／初期研修医：無料

●学生／初期研修医（現地受付）：5,000 円

※学生／初期研修医の方は、身分証明書（写）を提出ください。

参加登録費はご入金後、理由の如何にかかわらず返金いたしかねます。

3. 会場受付

受付時間：12 月 6 日（土）8：40～17：30

12 月 7 日（日）8：30～14：30

場所：大阪大学中之島センター 10 階 佐治敬三メモリアルホール前

■オンライン登録された方は、会場受付にて参加証をお渡しします。

■現地受付の方は、会場受付にて必要事項をご記入のうえ、参加費をお支払いください。

4. 領収証

■オンライン登録より決済を完了された方は、参加証と共に領収書をお渡しします。

■当日現金でお支払いをされた方は、代金と引き換えに領収書をお渡しいたします。

5. 講演プログラム・要旨集

日本生殖免疫学会会誌 Reproductive Immunology and Biology Vol.40 No.2 に講演プログラム・抄録集（和文）を掲載いたします。

Journal of Reproductive Immunology 誌には英文要旨が掲載されます。

会員の方には事前に講演プログラム・抄録集（本号）を郵送しております。

参加登録いただいた非会員の方へは別途お送りいたします。

6. 呼び出しとお願い

原則として、会場内放送によるお呼び出しは行いません。

講演会場内での携帯電話、スマートフォンはマナーモードへ切り替えていただき、通話をご遠慮ください。

7. クローク

本会場にはクロークのご用意がございません。代わりに会場内に荷物置き場をご用意いたします。

8. 情報交換会

日時 12月6日（土）18：00～20：00

会場 大阪大学中之島センター9F 岸本忠三交流サロン（サロン・アゴラ）
（〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53）

9. ご入会希望の方へ

入会手続きは学会事務局へお問い合わせください。

日本生殖免疫学会 入会手続き

<http://jsir.umin.jp/JPN/10.html>

年会費は正会員 7,000 円、準会員（学生） 5,000 円、入会費は無料です。

10. 単位付与・参加証明について

会場受付とは別に、それぞれ受付が必要です。以下の取得方法をご確認のうえ、ご自身の責任で手続きを行ってください。

日本産科婦人科学会

■日本専門医機構学術集会参加 3単位

<取得方法>

当日、会場受付併設の「日本専門医機構学術集会参加受付」にて、JSOG アプリのデジタル会員証または JSOG カードを提示ください。

■日本専門医機構産婦人科領域講習（1セッション1単位）

<取得方法>

対象セッション開始10分前より会場入り口にて受付を行います。JSOG アプリのデジタル会員証または JSOG カードを提示ください。セッション開始10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが単位付与の対象になりません。

<対象セッション>

12月6日（土） 11：40～12：40 特別講演 1

12月7日（日） 11：10～12：10 特別講演 2

日本産婦人科医会

■日本産婦人科医会研修参加証

<取得方法>

当日、会場受付にて必要事項をご記入の上、医会シールを取得してください。

日本生殖医学会

■専門医の資格更新または専攻医の専門医申請時必要要件となるポイント・単位の付与対象学会です。

<取得方法>

日本生殖医学会のホームページをご確認のうえご自身で手続きを行ってください。

<日本生殖医学会のホームページより抜粋>

参加証・領収証のコピーを後日日本生殖医学会へ氏名を付記のうえ（専門医の方は専門医番号も併記のこと）メール（info@jsrm.or.jp）での PDF 添付または郵送でご提出ください。

詳しくは、日本生殖医学会のホームページをご確認ください。

http://www.jsrm.or.jp/qualification/specialist_index.html

【座長の先生へのご案内】

担当セッションの開始 10 分前までに講演会場内前方の「次座長席」にご着席ください。
担当セッションの進行は時間内に終了するようご協力ください。

【発表者の先生へのご案内】

1. 発表形式：当日会場にご自身の PC をお持ち込みにてご発表をお願いいたします。

- ① 液晶プロジェクターとの接続は、HDMI の外部出力端子です。
PC 本体の外部出力端子の形状および出力の有無を確認してください。
専用の変換アダプターが必要な場合はご持参ください。
- ② バッテリー切れ防止のため、電源（AC）アダプターを必ずご持参ください。
- ③ 起動時にパスワードを設定している場合は、解除しておいてください。
- ④ PC 本体はサスペンスモード（スリープ、省エネ設定）やスクリーンセーバーが作動しないよう設定してください。
- ⑤ 当日は演者ご自身で舞台上に設置されている機器を操作してご発表いただきます。
- ⑥ レーザーポインターはご用意いたします。

2. 発表時間の 5 分前までに講演会場内前方の「次演者席」にご着席ください。

3. 講演時間

一般演題 発表時間 7 分、質疑応答 3 分
学会賞候補演題 発表時間 10 分 質疑応答 3 分
シンポジウム：別途、座長より連絡させていただきます。

【学会賞候補者演題について】

一般演題の応募抄録のうち優秀演題 8 題を選出いたしました。
学会賞候補者演題セッション（12 月 6 日（土）15：40 ～ 17：25）にてご発表いただき、審査員より最優秀演題を選出いたします。

<問い合わせ先>

第 40 回日本生殖免疫学会事務局

大阪大学微生物病研究所

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 3-1

TEL：06-6879-8375

FAX：06-6879-8376

E-mail：jsir40@biken.osaka-u.ac.jp

【交通のご案内】

大阪大学中之島センター

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-53



電車によるアクセス

- 京阪中之島線 中之島駅より徒歩約 5 分
- 阪神本線 福島駅より徒歩約 9 分
- JR 東西線 新福島駅より徒歩約 9 分
- JR 環状線 福島駅より徒歩約 12 分
- 地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約 10 分
- 地下鉄御堂筋線 淀屋橋駅より徒歩約 16 分

バスによるアクセス

- 大阪シティバス(53 系統)
大阪駅前バスターミナル→中之島四丁目(旧玉江橋) 下車 徒歩 1 分
- 大阪シティバス(75 系統) 大阪駅前バスターミナル→田蓑橋 下車 徒歩 2 分
- 北港バス(中之島ループバス ふらら) JR 大阪駅西口→中之島美術館前 下車 徒歩 2 分

第 40 回日本生殖免疫学会学術集会 プログラム

12 月 6 日 (土) 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

一般演題 1 9:20~10:20

座長：山田 秀人（手稲溪仁会病院）

1. 妊娠生理における β 2GPI の役割

大阪大学大学院 小松 伶奈

2. 抗リン脂質抗体症候群の分類基準変更による不育症診療への影響の検討

神戸大学 今福 仁美

3. 抗セントロメア抗体陽性不妊症例に対する治療成績の検討

英ウィメンズクリニック 北島 遼

4. 当院での抗 β 2GPI /HLA-DR 抗体（ネオセルフ抗体）検査と臨床成績の検討

英ウィメンズクリニック 林 奈央

5. 胎盤機能不全妊婦における抗 EGF 関連自己抗体保有率についての第一報

杉ウィメンズクリニック不育症研究所 青木 藍子

6. 不育症のネオセルフ抗体, 慢性子宮内膜炎, 子宮内膜フローラの検査と治療および妊娠帰結の観察研究

手稲溪仁会病院産婦人科 山田 秀人

一般演題 2 10:30~11:20

座長：杉浦 真弓（名古屋市立大学）

7. マウス子宮の機能的形態形成にはトランスフェリン受容体（TFRC）を介した鉄の取り込みが必須である

麻布大学大学院 藤井 奈央

8. AMA モデルマウスに妊娠中にプラバスタチンを投与することによる妊娠高血圧症候群の長期予後改善の検討

東京大学医学部附属病院 根本 一成

9. カテプシン B 阻害剤 CA074Me で妊娠高血圧腎症マウスモデルの肝-腎機能障害が緩和される可能性

東京農業大学 城田 純佳

10. Necrosulfonamide による Angiotensin II 誘導性高血圧マウスへの影響

東京農業大学 野村 昇汰

11. 絨毛細胞における ADAM10 や ADAM17 活性化を介した Autophagy の関与と sFlt-1 産生亢進についての検討

富山大学 西郡 高志

12. 二本鎖 RNA による細胞性栄養膜細胞分化阻害を介した新たな胎盤機能障害・妊娠合併症発症メカニズム

国立成育医療研究センター 山本 夏倫

特別講演 1 11:40~12:40 (日本専門医機構単位付与講習：産婦人科領域)

座長：甲賀 かをり (千葉大学)

「DNA-Encoded Chemistry Technology for the Creation of New Drugs for Women's Health」

Baylor College of Medicine Martin M. Matzuk

ランチョンセミナー1 12:50~13:50

座長：福井 淳史 (空の森クリニック)

「生殖医療におけるプロゲステロンの役割を再考する」

医療法人社団杉一会 杉山産婦人科 中川 浩次

シンポジウム 1 「基礎研究で読み解く生殖免疫—子宮内環境、炎症応答のメカニズム」

14:00~15:30

座長：根岸 靖幸 (日本医科大学大学院)

本村 健一郎 (国立成育医療研究センター)

SY1-1. 二本鎖 RNA が誘導する胎盤免疫応答と機能障害 — 妊娠合併症への新たな視点

国立成育医療研究センター 本村 健一郎

SY1-2. 適切な炎症が導く妊娠成立の子宮内環境：マウスやウシを用いた解析からの考察
東京農業大学 白砂 孔明

SY1-3. マウスモデルを通じた着床の理解とヒトへの臨床応用可能性
東京大学 平岡 毅大

SY1-4. 着床と胎盤形成における子宮内細菌叢の潜在的役割
日本大学 高田 和秀

学会賞候補演題 15：40～17：25

**座長：中島 彰俊（富山大学）
伊藤 正裕（東京医科大学）**

AW1. コレステロール硫酸は局所的に免疫反応を抑制することで妊娠時の母胎コンフリクトを防ぐ
九州大学 國村 和史

AW2. IL-18 シグナリングの破綻が妊娠予後に及ぼす多面的影響の解明
日本医科大学 井野 創

AW3. 脂溶性スタチンであるシンバスタチンは、妊娠高血圧腎症に対して強力かつ即効性のある治療効果を示す
東京大学医学部附属病院 稲葉 慶

AW4. 子宮内膜に常在し、妊娠に必須である自然免疫細胞の発見
名古屋大学大学院 大木 拓究人

AW5. Deciphering the Molecular Crosstalk Between BMP-SMADs and Hormonal Signaling in Endometrial Physiology and Endometriosis
Baylor College of Medicine Zian Liao

AW6. 血清遊離脂肪酸を用いた診断モデルは HPV 陰性子宮頸がんを高精度に検出する
日本大学 藤井 陽介

AW7. 母子間免疫相互作用を再現する新たなリンパ球 – HLA-G+絨毛外栄養膜細胞の in vitro 評価系の構築

Cincinnati Children's Hospital Medical Center 津田 さやか

AW8. 早期流産 117 症例における絨毛染色体正常核型と臨床所見の関連

日本医科大学 久保田 夢音

12 月 7 日 (日) 大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール

一般演題 3 8 : 50 ~ 9 : 30

座長 : 島 友子 (富山大学)

13. 未分画ヘパリンによる流早産および胎児炎症反応症候群の抑制効果—マウスモデルでの免疫学的解析—

日本医科大学 荻津 美和

14. マウス胚着床における異なる子宮上皮特異的な IL-6 受容体(GP130)の役割

麻布大学大学院 大友 茉奈

15. 子宮内膜 NK 細胞異常と子宮内細菌叢の比較検討

空の森クリニックくるめ 山谷 文乃

16. CineMRI による子宮収縮評価と子宮内細菌叢 Dysbiosis の関連

空の森クリニック 井坂 亮司

シンポジウム 2 「臨床生殖免疫の現在と若手研究者育成」 9 : 30 ~ 11 : 00

座長 : 谷村 憲司 (神戸大学)

山谷 文乃 (空の森クリニックくるめ)

SY2-1. 臨床生殖免疫の現在と若手研究者育成について

兵庫医科大学病院 本田 晴香

SY2-2. 研究のある生活を過ごすということ 研究成果の報告を含めて

市立砺波総合病院 吉田 美保子

SY2-3. 不育症診療の質向上に向けた四位一体の取り組み : 基礎・臨床・社会・教育

日本医科大学 市川 智子

SY2-4. 臨床生殖免疫の現在と若手研究者育成：臨床医が基礎研究を行う意義とは？

千葉大学大学院 甲賀 かをり

特別講演 2 11：10～12：10 （日本専門医機構単位付与講習：産婦人科領域）

座長：伊川 正人（大阪大学）

「体外培養系における生殖腺・生殖細胞の再構築」

大阪大学大学院 林 克彦

ランチョンセミナー2 12：20～13：20

座長：永松 健（国際医療福祉大学）

日本生殖免疫学会(JSIR) ～40 年の軌跡を振り返る～

英ウィメンズクリニック 柴原 浩章

一般演題 4 13：30～14：20

座長：若山 友彦（熊本大学）

17. MEM マウスモデルにおける TSPAN8 の環境ストレス応答と耐糖能異常

東京大学医学部附属病院 中島 啓輔

18. 前立腺癌細胞から分泌される非小胞性細胞外ナノ粒子の癌免疫微小環境へ与える影響

日本医科大学 野口 隼矢

19. ナノシリカが精巣や肝臓に及ぼす影響と Gasdermin D の関与

東京農業大学 鈴木 日菜

20. 光線-電子相関顕微鏡法を用いたラット精細管の鞭毛の観察

熊本大学大学院 若山 友彦

21. Youtube を用いた日本生殖免疫学会若手会員育成のための取り組み

富山大学 中島 彰俊

一般演題 5 14 : 30～15 : 20

座長：熊澤 恵一（東京大学）

22. 帝王切開術後に遷延する重度の腎機能障害を認め、非典型的溶血性尿毒症症候群の診断で血漿交換を行い改善を認めた一例

千葉大学医学部附属病院 木村 亮介

23. セミプリマブ投与によるサイトカイン放出症候群の疑いでトシリズマブが奏効した子宮頸癌の1例

千葉大学医学部附属病院 大塚 聡代

24. 全身性エリテマトーデスでステロイド長期内服中に外陰部巨大尖圭コンジローマを発症し、エトレチナート投与で軽快した1例

千葉大学医学部附属病院 羽生 裕二

25. 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症例における胎児免疫応答のマスサイトメトリーによる包括的プロファイリング

東京大学医学部附属病院 大谷 知廣

26. 当院における自己免疫疾患合併不妊症患者の ART 治療成績と周産期転帰の検討

大阪大学大学院 岡木 啓